



秦野市立広畑小学校

令和2年10月28日

NO.12

広小だより



[笑顔いっぱい、やる気いっぱい運動会!]

10月24日(土)天候にも恵まれ、全員出席の中、今年度の運動会が行われました。新型コロナウイルス流行があり、約5カ月延びた運動会でしたが、開催することができたこと、今年になって初めて保護者のみなさま、子どもたちと時間を共有できたことは私にとって4月から約7カ月、一番うれしい日となりました。前任校は平均4クラスでしたので、徒競走も両側からスタート。でも広畑小は一人ひとり、担任が名前を呼んでのスタート。私もレースの進行ができるように赤白の旗を持ってゴールに立たせていただきました。ゴール目指して一生懸命走る子どもたちを見て感激するばかりでした。開会式でもお話させていただきましたが、今回は時間の中で先生と子どもたちが演技する内容を決め練習することになりました。

1・2年生による『みんなで☆マスカット』

ダンスを踊った後、玉入れとの組み合わせ。以外に大きい紅白玉と高いかごに悪戦苦闘。当初は2個しか入らなかったと聞きました。でも当日はがんばってたくさんかごに入っていました。投げる練習にもなったようです。片付けまでみんなで協力して最後までがんばっていました。ダンスは低学年らしさが出ていてとてもかわいかったです。4月からの成長を感じるばかりです。

3年生による『心を一つに！リズムなわとび & ダンス』

教頭先生から伝授していただいた様々な跳び方を必死で覚えていた3年生。練習する度に上手になっていきました。個の演技、グループの演技、最後はみんなで大縄跳び。ダンスも入り、力を合わせて演技している様子がひしひしと伝わってきました。「ダブルチョコポッキー」の旗もとてもよくできていました。なわとびを続けて練習し、さらに技をきわめてほしいと思います。

4年生による『全力！ 広畑ソーラン～これでいいのだ～』

練習からいつも低い姿勢で力強く踊っていましたが、当日はさらに磨きがかかって最高の出来栄でした。かけ声も22人とは思えないほど張りのあるしっかりした声で、北海道のニシン漁を思い起こしました。また、自分たちで考えたダンスもなかなかでした。にこにこ笑顔で踊っている子がたくさんいてほほえましかったです。特にラインダンスは息がそろっていてお見事でした。

5年生による『シャルルフラッグ』

一人ひとりの名前を先生が呼名し、自分自身の声で目標を流しての入場がとても勇ましくかっこよかったです。少し長めの旗が風に舞い、力強く振ったり、みんなで形を作ったりして見ごたえも十分でした。デイキャンプ、稲刈り体験なども2学期に経験し、充実した日々を送っている5年生。これから高学年としての活躍がとても楽しみです。

6年生による『感動を届ける T・M・S』

踊って、走って、一人技を演技。チームごとにTシャツの色を変えクラスのシンボルマーク、自分の名前、出席番号をアイロンプリントし、世界で一つしかない自分のTシャツもとてもよかったです。どの演技も真剣に行う姿をみていると、5か月後には中学生になる6年生に心動かされ、涙が出てきました。最高学年として大活躍でした。

運動会を終えて

感動冷めぬうちにといい、各学年演技の感想を書かせていただきました。子どもたちの活躍の裏には担任の先生やサポートくださった先生等広畑小の職員全員の陰ながらの支えがありました。また保護者のみなさまの応援も子どもたちのやる気が高まったと思います。半日でしたが、本当に充実した時間でした。みなさまに感謝です。



運動会を終え、そろそろ11月の声が聞かれる頃となりました。とても良い季節です。新型コロナウイルスも少しずつ下火になってきていますが、家庭内感染やクラスターが発生している状況です。またたくなり、インフルエンザ等も流行する可能性があります。通常の学校生活が続けられるよう、手洗い、マスクの着用をはじめ、引き続き感染症対策をお願いいたします。